

2019年6月28日

各位

株式会社新生銀行
新生企業投資株式会社
一般財団法人社会的投資推進財団

社会課題解決に向けたベンチャー支援・育成インフラとしての 日本インパクト投資2号ファンドを設立

新生銀行グループの新生企業投資株式会社(代表取締役社長:松原 一平、以下「新生企業投資」)が出資する新生インパクト投資株式会社(代表取締役:黄(尾崎) 春梅、高塚(宮部) 清佳、以下「新生インパクト」)および一般財団法人社会的投資推進財団(代表理事:青柳 光昌、以下「SIIF」)は、株式会社みずほ銀行(頭取:藤原 弘治、以下「みずほ銀行」)とともに日本が「世界で最大の社会課題解決型経済国」となるための一歩として、リスクマネーが産業変革・社会変革の分野へ流入する仕組みとしてのインパクト投資の普及を目指し、2019年6月28日付で「日本インパクト投資2号ファンド」(以下「本ファンド」)を設立し、22億円にてファーストクローズが完了したことをお知らせします。

新生インパクト、SIIFとみずほ銀行の3社は、「インパクト投資家の増加とノウハウの共有による、日本におけるインパクト投資のエコシステム構築」ならびに「経済的なリターンと社会課題解決(社会的なリターン)との両立」という本ファンドが掲げる社会的意義に共鳴し、ファンドを通じてベンチャー企業の支援・育成の新たなエコシステムを構築し、世の中へインパクトをもたらす産業・事業の創出支援を開始します。

本ファンドは、株式会社新生銀行(代表取締役社長:工藤 英之、以下「新生銀行」)と新生企業投資が共同で2017年1月に設立した日本インパクト投資1号ファンド(以下「子育て支援ファンド」)の後継ファンドとなります。

本ファンドの運営において、新生企業投資の共同ファンド運営ノウハウ、および子育て支援ファンドにおけるエクイティによるインパクト投資の実践経験、SIIFのインパクト投資市場の開拓実績およびインパクト評価ノウハウ、みずほ銀行の盤石なネットワークや運営するイノベーション支援機能「M's Salon」を通じた金融サービス提供力、コンサルティング力を持ち寄り、緊密に連携しながら共同運営することで、投資先事業者の成長支援や社会的インパクトの拡大を目指します。

ファーストクローズに際し、運営メンバーに加え、新生銀行、三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝)の他、学校法人、事業法人が出資をしています。

本ファンドでは、持続可能な社会に向けて、「働く人」を中心に据え、子育てや介護等のさまざまなライフイベントを経ながらも、あらゆる人々が働き続けられる環境づくりに資する企業、次世代の人材育成に寄与する教育・保育サービスを提供する企業、育児と介護の両立支援事業を営む企業等の「子育て・介護・新しい働き方関連事業」を投資対象とし、アーリーからレイトステージの企業に1件あたり1~5億円程度の規模で投資します。経済的なリターンと社会的なリターンの両立を目指すインパクト投資ファンドとして、引き続き投資家や事業会社の皆さま、有識者とのパートナーシップを構築し、投資を通じた社会課題の解決に貢献していきます。

■ 新生企業投資について

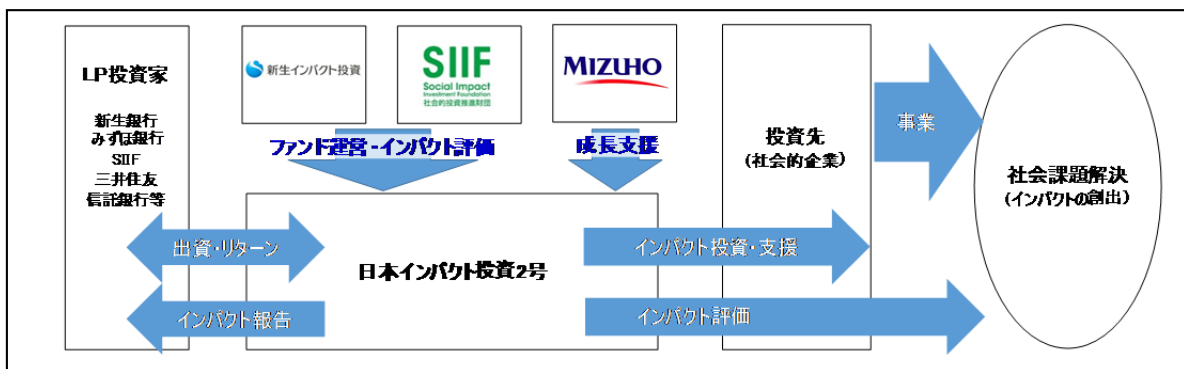
新生インパクトを擁する新生企業投資は、長年に渡るプライベートエクイティ(未上場株式)投資の知見を活かして規律ある投資活動を行っています。また、社会課題解決型経済の創出に向けて、邦銀初のインパクト投資ファンドである子育て支援ファンドを運営し、ベンチャー企業に対するインパクト投資の実績およびネットワークを積み上げてきました。この取組みが評価され、黄、高塚の2名は日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019 子育て支援サポート賞」を受賞しました。新生銀行グループが中期経営戦略で掲げる「価値共創による成長追求」のもと、引き続きさまざまなパートナーとともに、日本におけるインパクト投資のエコシステム構築を積極的に推進します。

■ SIIF について

SIIF は日本におけるインパクト投資の促進に関し中心的な役割を担っている団体として、これまでリスクキャピタルの提供を通じて、ソーシャル・インパクト・ボンド(以下「SIB」)を始めとするインパクト投資の多様な先行事例を金融機関と創出しながら、投資先事業が生み出す社会的インパクトの評価や政策提言を通じインパクト投資のエコシステム構築を推進しています。

注)「インパクト投資」とは、社会課題の解決に資する企業に対する投資を行うことを通じて、経済的リターンと社会的リターンの両立を目指す投資を指します。

【取組みイメージ】



【本ファンドの概要】

- 名 称 : 日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合
設 立 日 : 2019 年 6 月 28 日
ファンド規模 : 22 億円(ファーストクローズ時)
出 資 者 : GP(無限責任組合員)出資: 日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合
LP(有限責任組合員)出資: 株式会社新生銀行、株式会社みずほ銀行、一般財団
法人社会的投資推進財団、三井住友信託銀行株式会社ほか
期 間 : 投資期間 5 年、組合期間 10 年
投資対象 : 子育て・介護・新しい働き方関連事業を営むアーリーからレイターステージの企業

お問い合わせ先
新生銀行 グループIR・広報部
幡野、風間、紀
Tel. 03-6880-8303